

ふくしま便り

No. 3

2016年9月20日発行

9月号

日本生協連
組合員活動部

今年も暑い夏でした！仮設住宅ふれあいサロンでは、
ソーメンのお昼、みつ豆と白玉だんごのおやつ、すいか割り、
うちわを使っの風船バレーなどなど夏らしい催しを行いました。
暑さの中、元気で過ごせるように工夫した取り組みを行いました。



仮設住宅ふれあいサロンから ～福島市北幹線浪江町第一仮設集会所～



7月11日コープみつ豆缶に白玉だんごを茹でて
喫食。そのあと輪になってうちわで風船バレー！
集会所に笑い声が響きました。14名が参加しまし
た。



8月1日コープみえとユークープ・かながわの
みなさんが訪れました。「連鶴」折りを教えてもら
い、リボンレイストラップ争奪じゃんけん大会で
盛り上がりました。22名が参加しました。



仮設支援スタッフ交流会が開催されました ～7/22 郡山テポ～

ふれあいサロンなどの仮設住民を支援するスタッフ 10 名に
未経験者 5 名が加わり、仮設住宅の現状や今後の支援について
語り合いました。冊子「支援者のためのサポートガイド」から
いわて生協中村弥生さんの書いた経験談をみんなで読み合わせました。

昼食をはさんでの交流の後、ピースア
クションひろしま虹の広場で販売する廃
油せっけんづくりと袋詰めをわいわい行
いました。





2016 福島応援隊 ～福島の桃の供給実績が過去最高！～

福島の夏の果物といえば桃！

全国の生協のみなさんのご協力で、過去最高の供給数量、供給高となりました。ありがとうございました。桃は、主力品種あかつきと川中島で 5,098 ケース、ジュースは、もも、りんご、なしの果汁ジュースとサイダーを合わせて 645 ケース、合計供給高は 22 百万円となりました。（チラシの作成経費に、「くらし・地域復興応援募金」を充てています。）



福島の現状を知る 視察と学習会

【被災地視察に訪れた生協】

5 生協が被災地や仮設住宅を訪れ、福島の現状を見学しました。8/1 には仮設を訪れ交流しました。
・みやぎ生協 (6/30、7/21) ・ユーコープ・かながわ (7/5-6、8/1)、ユーコープ・やまなし (7/23-24)
・コープいしかわ (7/30-31)、コープみえ (8/1)



知ってますか？ ～除染～

福島県内の除染進捗 / 36 市町村 (福島県の公表データから)

区分	2016 年 7 月 31 日現在
住宅	94.4%
公共施設	90.0%
道路	54.4%
農地	87.1%
森林 (生活圏)	55.6%

36 市町村/国が除染する除染特別区域 (帰還困難区域など線量の高いエリア) 以外の市町村が除染作業を行っている自治体。

除染とは、原発事故によって環境中に放出された放射性物質を身の回りから「取り除く」「さえぎる」「遠ざける」ための物理的な作業を言います。いずれにせよ、放射性物質が無くなるわけではなく生活空間から別の場所へ移し保管しておく場所が必要となります。そのため仮置き場や中間貯蔵施設、最終処分場が必要となります。中間貯蔵施設で 30 年保管した後は、福島県外の最終処分場へ搬出することとされています。“ゴミ”の容積を減らす減容化施設というのもあります。

サロンにおじゃましました！

9 月 12 日浪江町のサロンにおじゃましました。今回のスタッフは、左が生活文化グループ菅野寿江さん、中央が今回初めて参加した児玉薫さん、そして右がサロンの企画と運営を担う斎藤恵理子理事です。12 名の住民が参加しました。指折り体操とユーコープから頂いた静岡のお菓子でお茶、そしてコープたまごスープの炊き込みご飯で昼食とおしゃべり。最後に“百万円札”でじゃんけんお金持ちゲーム。時間いっぱい楽しみました。 —by 住吉—



発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉、小池